

目標達成計画

作成日 : 平成 29 年 12 月 15 日

評価結果

市町提出日 : 平成 29 年 10 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者の安全を考え、実施している身体拘束についてやむを得ず継続してきたが、解除のための模索をさらに実施し、解除まで至らずとも方法の変更等解除への努力の必要性。	身体拘束ゼロを目標とする。(玄関施錠は家族からの要望でもあり継続)	話し合いを行い、ベッド柵交換し、固定せずに済むようにした。また、早朝のみ車いす上で抑制帯使用しているが、その時間を削減していき、見守りで対応できるようにしていく。	6 か月
2	13	職員の退職などで職員数確保できない時期があり、業務に追われ、研修や会議などを実施できる余裕がなかった。	職員の意識向上や役割意識、技術向上などを図るため、研修などの実施。	職員数に少し余裕も出来てきたため、ホーム内研修などを実施。	6 か月
3	34	急変時の対応などについて、この一年研修など実施できず、職員の不安があった。	応急手当や急変時の対応についての研修を実施し、全職員が対応できる体制を取る。	研修を実施した。	3 か月
4	35	事業所が津波や水害の危険性が大きい場所にあることから、常に災害には留意しているが、夜間の洪水時の避難が大変な状況である。	避難確保計画をたて、体制を整える。	避難確保計画を作成し、家族の協力を得ながら、職員の体制も整え、安全確保をする。	3 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。